

Q58. 透析が長くなると、肩の痛みが出てきました。手が痛く指が曲がりません。どうしてでしょうか。

A.

長期の透析患者さんにみられる肩の痛みの原因として、アミロイドーシスという病態があります。アミロイドーシスは腎不全以外の方にも起こりうる病気ですが、特に透析患者さんにみられるケースの多くは、透析アミロイドーシスといわれます。これは腎不全のために体の中に β_2 ミクログロブリンという物質が蓄積し、それがもとになってつくられるアミロイドという特殊なたんぱく質が色々な場所に沈着して起こります。アミロイドは体にとって本来異物であるために、このアミロイドが沈着すると、これを排除しようとして集まってきたマクロファージという細胞との反応で炎症が起こります。またマクロファージから様々な物質が放出され組織の破壊が起こったりもします。アミロイドは様々な場所に沈着しますが、肩から上腕骨、肩甲骨周辺に多くみられます。それ以上に頸椎を含む脊椎骨に沈着することもあります。脊椎骨にアミロイドが沈着し、椎体（脊椎の骨）に変形などが起こった状態を破壊性脊椎関節症とよび、とくに頸椎の下方によくみられます。頸部の神経の圧迫により手や指の痛み、しびれ、運動障害などが出現することもありますので、一度整形外科の専門医を受診し、頸部の X 線撮影や MRI 検査を受けることが必要でしょう。

また手の指にしびれや痛みが出たり、指が曲がりにくくなった場合は次の質問にある手根管症候群の可能性もあります。

医師